

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.02.06~02.17

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

2月6日(月)

■トプコン、北京に新工場

測量機・眼科機器／新興国向け

トプコンは、2013年3月までに北京に土木・建築向け測量機と眼科機器の新工場を建設する。新興国向け低価格機などの供給体制を整える。年産能力は現在の1.5倍程度。日本向け生産も。(7面)

■瀋陽機床の機械、日系に提案

創一貿易／生産ライン構築

創一貿易は、中国の工作機械メーカー大手の瀋陽機床の機械を、現地の日系企業向けに提案する。台湾メーカー製や韓国メーカー製などの工作機械を組み合わせ生産ラインの受注を狙う。(7面)

■浜松ホト、北京に新工場

光電子増倍管／生産能力2倍

浜松ホトニクスは、2013年10月をめどに北京市に新工場を建設する。光電子増倍管と関連製品の生産能力を、年商ベースで現在の約2倍にあたる80億円分に引き上げる。10億円投資。(9面)

2月7日(火)

■香港と再保険協定

日系の第三国輸出支援／日本貿易保険

日本貿易保険は、貿易保険を運用する香港の公的機関と再保険協定を結び、香港に進出している日系企業の支援を拡充する。香港の日系企業の第三国への輸出を支援する。(3面)

ASIA

2月6日(月)

■スズキ、低価格小型車タイ生産

「Aスター」年産7万台／2014年

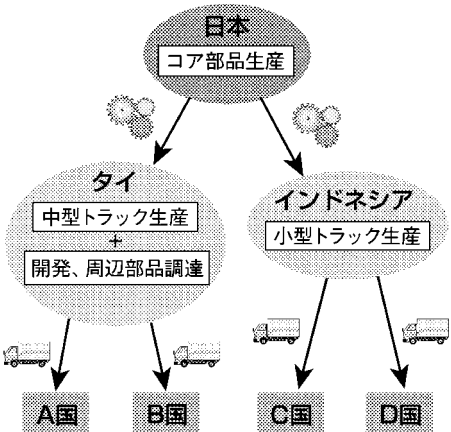
スズキは、2014年をめどに、タイ工場で低価格小型車「Aスター」の生産を始める。年産約7万台。全面改良する13年末以降、タイなど新興国で生産する。タイ工場の年産は約10万台。(1面)

■日野自、タイに開発・調達拠点

2012年度／現地化を加速

日野自動車は、トラックの開発・部品調達拠点をタイに2012年度にも設ける。タイとインドネシアの生産拠点向けの開発・調達を担う。海外に開発・部品調達の拠点を設立するのは初めて。(1面)

日野自が目指す
東南アジアでのトラック事業



■現代自向け空調部品増産

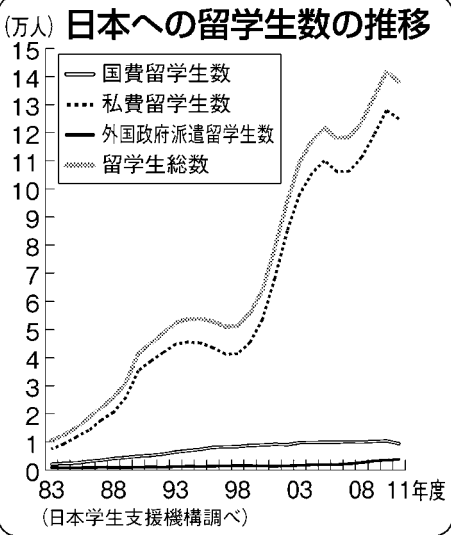
太平洋工業／年産300万台分

太平洋工業は、カーエアコン用コンプレッサケースを生産する韓国子会社の生産能力を100万台分から2013年3月までに同300万台分に引き上げる。韓国・現代自動車向け供給増。(6面)

■ベトナムで優秀な学生を獲得

日本企業が現地精通リーダー育成

市場開拓には現地に精通した人材が欠かせない。優秀なベトナム人学生を獲得の動きが目立つ。現地の大学も歓迎。日系教育機関と連携して人材を養成し、日



インドネシアの経済成長は欧州景気の後退で年率6%未満に下がる可能性がある(ジャカルタのショッピングモール＝ブルームバーク)



■中国でNC旋盤を生産

長谷川機械／品質・コスト両立

長谷川機械製作所は、中国でNC旋盤の生産を3月に始める。日本製に比べて機能を絞った現地市場向け製品を手がける。上海郊外に現地法人を設立した。品質を維持し、コストを抑える。(6面)

■抗体医薬品用培地を拡販

J Xエネ／日中韓で即応体制

J X日鉱日石エネルギーの100%子会社・アイエスジャパンは、東アジアで抗体医薬品製造用培地を拡販する。日本、中国に加え、営業領域に韓国を追加。本社の研究施設を拡張。(14面)

■中国で電解研磨加工

マルイ鍍金／F P D需要増

マルイ鍍金工業は、ステンレスなどの電解研磨加工で中国に進出する。現地で

の需要が増えている薄型ディスプレイなどの生産設備需要に対応する。進出した日系の要請が相次いでいた。(21面)

2月8日(水)

■中国の営業担当60人体制

NECフィールドینگ

NECフィールドینگは、中国拠点の営業担当者を現在の十数人から今後4年で50〜60人に増やす。日系企業に加えて現地小売業などを開拓する。主力の保守と並びS Iも強化する。(9面)

■埼玉県、上海に企業支援拠点

相談381件・商談95件・成約12件

埼玉県は、上海に埼玉県上海ビジネスサポートセンターを2010年11月開設した。海外市場に活路を求める県内企業の要望を反映。相談381件、商談95件、成約が12件と堅調。(23面)

ス政府が管轄するインターネット・センターと国際ネット接続事業で提携した。

ラオスから海外サイトに接続する際は、N T T コムの回線を経由。(1面)

■日清製粉、タイ工場増強

日産280トン／周辺国へ輸出拡大

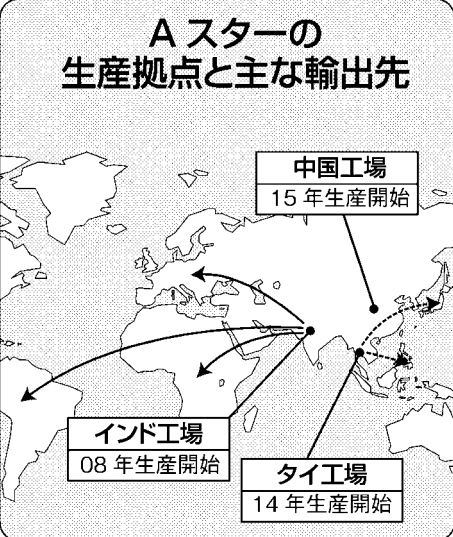
日清製粉は、タイにある製粉工場の生産能力を約2割増強する。日産240トンから同280トンに。タイ国内だけでなく東南アジア周辺国への輸出拡大する。生産能力不足が見込まれていた。(14面)

2月10日(金)

■スズキ、タイから逆輸入

低価格小型車／年1万台

スズキは、タイ工場で生産した低価格小型車「Aスター」の日本への逆輸入を2015年をめどに始める。輸入販売台数は年間約1万台で、順次、同2万台程度にまで引き上げる。(5面)



■住友精密、台湾合併で増産

航空機用鋳物部品

住友精密工業は、航空機用鋳物部品を生産する台湾合併・アピオキャストを2013年秋に移転・拡張する。同合併から調達する航空機用熱交換器向けハウジングなどを増産する。(6面)

■企業設立から許可手続き代行

双日／インドネシア

双日は、インドネシアへの進出する日本企業を支援する。企業設立から工場建設、許可手続きまで行う。手間のかかる作業を代行することで、とくに中小企業の負担を軽減する。(12面)

2月14日(火)

■ヨロズ、タイ・メキシコに工場

日産・スズキ向け好調

ヨロズは、タイとメキシコにサスペンションなど自動車部品の新工場を建設する。供給先の日産自動車やスズキ、欧米メーカーからの受注が好調。災害時のリスク分散も狙う。(3面)

■日本、韓国に抜かれ3位

2011年／半導体の世界売上高

2011年の半導体の世界売上高で、日本企業の総計が韓国勢に抜かれ3位に転落した。デジタル機器に搭載するシステムLS I の不振やDRAM市況が停滞。米I Cインサイトがまとめた。(10面)

2月9日(木)

■活性炭、中国・フィリピンで増産

クラレケミカル／合計2万トン体制

クラレケミカルは、中国とフィリピンで活性炭を増産する。2013年春に合計1万6000トンから同2万トン体制に。自動車部品のキャニスター向けや水処理用途で国内外の企業の需要が高まる。(12面)

■廃車部品再生で中国に工場

C R S 埼玉／入居呼びかけ

C R S 埼玉は、中国で自動車中古部品の再生事業に乗り出す。2011年に張家港市に地元政府などと合併で設立した廃車リサイクル会社に再生工場を新設し複数の企業に入居を呼びかける。(13面)

■中国での税務・法務を支援

三菱東京U F J 銀行／中小向け

三菱東京U F J 銀行は、中堅・中小企業の中国進出に対する支援業務を積極化する。間接税改革や同国での訴訟対応など現地での販売展開に必要な情報を提供し、企業化調査を支える。(19面)

2月10日(金)

■武田薬品、上海に臨床開発部門

地域に合った開発／確実に承認取得

武田薬品工業は、上海に臨床開発部門を設置した。現地に開発関連の人材を置くことで、質の高い臨床試験の実施につながる。地域事情に沿った開発業務ができ、確実な承認取得を目指す。(12面)

■日本から自動車部品を調達

南方工業集団／東京で商談会

中国・南方工業集団は、日本の自動車部品メーカーとの連携に乗り出す。東京中小企業投資育成などと3月に日本で初めての商談会。高い技術力を持つ企業から調達することで機能向上。(22面)

■東芝、海外の重電強化

インド／火力発電タービン新工場

東芝が海外の重電事業強化に乗り出している。インドで火力発電所向け蒸気タービン発電機の新工場が完成、一貫生産。米国で34年ぶりの原発の新設が決まり、ウエスチングハウスが施工。(10面)

2月15日(水)

■住友化学、D P F をアジア生産

欧米と世界3極体制

住友化学は、2015年をめどにディーゼルの排ガスからすすを除去するフィルタ(D P F)の生産拠点のアジア新設を検討。米国にも生産拠点を設け、ヨーロッパ工場と世界3極生産体制。(1面)

■海水淡水化装置、アジアに照準

薬品なし／ナチュラルウォーター

ナチュラルウォーターは、薬品を使わずに飲料水を作る海水淡水化装置を海外販売する。装置一式をコンテナにまとめて低コスト化。水道インフラが未整備の東南アジアや中東に売り込む。(16面)

2月16日(木)

■リンナイ、A S E A N モデル

ガスコンロ／域内で生産

リンナイは、A S E A N 専用モデルのシステムキッチン用ガスコンロを2013年をめどに投入する。生産もA S E A N 域内で手がける。年販20万〜30万台。国を超えた共通モデルは初めて。(1面)

■共英製鋼、ベトナムに合併

鉄筋用棒鋼／一貫生産

共英製鋼は、ベトナムに鉄筋用棒鋼を製鉄する合併会社を設立する。合併先のタンディップローリングミルの既存の圧延設備を継承、製鋼から圧延までの一貫ラインを新設。2014年稼働。(3面)

2月17日(金)

■特許庁、インドに拠点

現地出願／欧米勢を巻き返し

経済産業省は、インドに特許庁の出先機関を2012年度に設置する。企業の競争力基盤となる特許の現地出願件数で日本は欧米勢に出遅れている。日系企業の特許出願など知財戦略を後押し。(1面)

■トヨタ、台湾でH V 生産

「カムリ」年産7000台

トヨタ自動車は、台湾で「カムリハイブリッド」の生産を始めた。年産7000台。小型車「ヤリス」の工場に約1億円を投じて生産ラインを改良しプラス加工、溶接のラインを増強。(3面)

■ベトナムでプレス部品

野口製作所／日系2輪・4輪向け

野口製作所は、2013年春にベトナムでプレス部品の生産を始める。バグザン省に新工場を建設し、主に2輪車・4輪車のエンジン向け深絞りプレス部品。A S E A N に進出する日系向け。(5面)

■アジアの航空機需要9370機

世界最大市場に／エアバス予測

欧エアバスは、今後20年間でアジア太平洋地域の航空機需要が約9370機になると予測。約102兆円規模で、世界の航空機の34%を占め、北米、欧州を抜き世界最大の航空機市場になる。(7面)

2月14日(火)

■太平洋セメント、冀東と合併

廃棄物リサイクルなどコンサル

太平洋セメントは、中国の冀東セメントグループと合併会社設立で合意。セメント工場の生産プロセスの省エネ化や廃棄物リサイクルのコンサルティングなどを提案する。(13面)

2月15日(水)

■横浜ゴム、原材料の試験拠点

海外に初／タイヤ工場敷地内

横浜ゴムは、浙江省にある子会社のタイヤ工場敷地内に原材料の試験・評価拠点として「優料豪馬中国技術センター」を設立した。海外に原材料の評価・試験拠点を設けるのは初めて。(6面)

2月16日(木)

■ハイアール、白物500億円

「A Q U A」ブランドで攻勢

中国・家電大手ハイアールは、日本での白物家電で2012年に売上高500億円を目指す。このうち三洋電機から継承した冷蔵庫、家庭用洗濯機の「A Q U A」ブランドで350億円。(8面)

2月17日(金)

■大熊製作所、中国に第2工場

トラック向けプレス部品

大熊製作所は、江蘇省にトラック向け量産プレス部品の工場を新設する。現地2カ所目。今秋からブラケット関連部品などを生産する。欧州や日系の自動車メーカー向け需要増。(5面)

■「C X—5」中国でも生産

マツダ／現地生産で顧客・円高対応

マツダは、日本で16日に発売した新型

S U V「C X—5」を、2013年から中国でも生産する。海外生産を現状30%から2016年3月期までに50%に高める。現地生産で顧客対応と円高対応。(5面)

TELOP

■大連の保税港区に倉庫

郵船ロジスティクス(8日15面)

■GMから中・米で受注

曙ブレーキ工業(14日5面)

■中国に進出する日系流通業に紹介

野村総研(15日11面)

■V W、中国でE V 生産

2014年開始(時事=16日5面)

■類似商標係争で中国企業と和解

J V C ケンウッド(16日8面)

■中国金融機関にリスク管理

N T T データ／信用力分析(16日10面)

■ジャガイモ搾りかすでバイオ燃料

中国社と／双日・日立造船(17日6面)

■ノリタケ、研削砥石営業拠点

広州市／南部の需要開拓(17日6面)

■オンキヨー、国光電器と合併

オーディオシステム(17日8面)

■地域金融機関向けソフトの中国版

電通国際情報(17日9面)

●ひと……………

初めてづくし

「初めてのことから安定した品質が出るか」と中国製の高張力鋼板(ハイトン)を使った車体骨格部品の中国生産に不安げな東プレ社長の内ヶ崎真一郎さん。「ハイトンを使うにはノウハウがいる。現地従業員に技術指導している」。初めてづくしの挑戦に慎重。(6日=6面)

TELOP

■東京エレクトロ、シンガポールに販社

半導体製造装置(6日9面)

■ラオスにおいてよ／

観光年／2つの世界遺産(6日22面)

■住友化学、低燃費タイヤ原料増産

シンガポール工場(7日11面)

■佐川、ベトナムで宅配便

ハノイ・ホーチミン(7日15面)

■台湾社と販売代理店契約

東京エレクトロデバイス(8日8面)

■シンガポールで245mのビル着工

竹中工務店(8日14面)

■国際協力銀、77億円融資枠

インドネシア輸出入銀(8日17面)

■インドネシアで中小の賃貸工場

伊藤忠・フォーバル(9日1面)

■内装部品材、インドネシア調達

しげる工業(9日5面)

■楽天証券、シンガポールで取引

香港上場廃止の投信(9日19面)

■ルビア建て債券を取り扱い

S B I 証券(9日19面)

■林野庁、アジアに照準

国産スギ・ヒノキ輸出促進(10日2面)

■タイにブレーキ部品工場

アドヴィックス(10日5面)

■近鉄エクス、インド大手と合併

倉庫情報システム活用(14日3面)

■N T N、タイ第2工場

等速ジョイント(14日5面)

■I H I、タイに拠点

ガスタービン発電プラント(14日8面)

■中外炉工業、東南ア2拠点

タイ・インドネシア(14日8面)

■J N C、ベトナムに新工場

液体処理用フィルター(14日12面)

■シンガポール事業拡大

東海東京フィナンシャルH D(14日17面)

■タイの昇降機生産、10万台突破

三菱電機(15日10面)

■マレーシア、D C に優遇税制

海外企業を誘致(15日11面)

■ベトナムで合成ゴム用コンテナ

日本ゼオンが生産(15日12面)

■インド社を持ち分法適用会社に

J F スチール(15日12面)

■花王、ジャカルタに新工場

界面活性剤／生産能力1.5倍(15日17面)

■スズキ、印で販売1000万台達成

1983年12月初出荷(16日5面)

■市光工業、タイに照明新工場

テクニカルセンター併設(16日5面)

■ホンダ、印で通常操業

部品、日中から代替調達(17日5面)

■千代田化、トクヤマから受注

マレーシア(17日6面)

■東レ、海水淡水化R O 膜を受注

アジア最大、日量31万トン(17日13面)

■マンマーに車両を譲渡

J R 西日本／キハ181系15両(17日15面)

●ひと……………

絆と情熱が誇り

住友商事、東芝、三井造船などと取り組んだインドネシアの石炭火力発電所の拡張工事が完工、電力供給を始めた。住友商事社長の加藤進さんは「日本コンソーシアムの絆と情熱を誇りに思う」と胸を張る。「『ジャパン・イニシアチブ』で海外案件に取り組む」。(10日=12面)

ミャンマーに注目

「新たな投資先としてミャンマーに注目している」と話すのは、大光研磨社長の霜手道孝さん。「中国やタイに比べて5分の1程度の人件費」が魅力。ただ、それ以上に「天然ガスやレアアース(希土類)など豊富な資源が日本にとっては重要」と強調する。(15日=26面)

タイ洪水

■古河電工、来月から再開

F T T H 向け光部品

古河電気工業は、「フルカワファイタル(タイランド)」の生産を3月から順次再開する。光通信用半導体レーザーや家庭用光ファイバー通信回線(F T T H)向け光部品。(8日=8面)

■自動車内装材を2割増産

住江織物／1ライン増設

住江織物は、タイ洪水で浸水被害にあった工場で、2015年度までに自動車内装材を2割増産する。1ライン増設するほか、生産効率を向上で対応。タイの日系車メーカーの需要増。(10日=10面)

■ソディック、高台に新工場

放電加工機／洪水リスク回避

ソディックは、ナワナコン工業団地の近隣の高台に放電加工機の新工場を建設する。既存工場が洪水で浸水。12月に一部再開したが、水害リスクを考慮し、新工場の建設を決めた。(14日=8面)

■クボタ、タイ工場を再開

まず、耕運機の組み立て

クボタは、洪水で操業停止中のナワナコン工業団地の工場を月内にも再開する。約4カ月生産していなかった耕運機の組み立てを始める。機械加工の再開は春以降の見通し。(16日=6面)

●……………○

■住生活、3月から順次再開

サッシ製造子会社(10日12面)

●ひと……………

カンボジアで皮算用!

「納品前だが、喜びの声が届いた」と笑顔は、大阪電気通信大学客員研究員の白田昭司さん。3月に訪れるカンボジア工科大学に、産学連携で開発した小型蓄電装置を寄贈する。「反響が大きければカンボジアで商売を始めなければ」と、ちょっぴり皮算用。(8日=21面)